



宮崎大学マガジン

【特集】 宮崎大学ビジネスプランコンテスト



とっても元気!宮大チャレンジ・プログラム
地域教育プログラム
Topics&Information
卒業生に直撃!



第2回 2018グランプリ

Mitok(ミトック)

～獣医師、ペット、飼い主がwin-win-winな社会をつくる～



農学部3年 久保洋朗・下森文敬

動物版のナースコール。人工知能(AI)で症状が急変する前に現れる予兆を解析し、獣医師に知らせるシステム。獣医師の負担を減らすことを目指す。

第1回 2017グランプリ

TOBE(トゥービー)

～社会を変えるビジネスプランがここにありま〜

航空券をネット予約する際、身体障がい者は別途、障がい内容などを記入しなければならない。障がい者専用のデータベースをつくり、予約の度に航空会社に必要項目を提供し、企業・利用者双方の手間を省くサービスを考案した。このチームは、2018年に学生ビジネスプランコンテスト「キャンパスベンチャーグランプリ」(日刊工業新聞社主催)にも出場し、文部科学大臣賞受賞した。



工学部4年 木下大輔
教育文化学部3年 井手優太
地域資源創成学部1年 太田帆南、外山開成、福永昌俊

第3回 2019グランプリ

Pioneer Pork ~Super Swine Style~



農学部4年 有方草太郎

アニマルウェルフェア(動物福祉)に配慮した放牧養豚で、肉質向上とコスト減が両立できる養豚を提案。有方さんは、2020年3月に東京で開催された「起業家甲子園」(総務省・国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)主催)にも出場し、審査員特別賞を受賞した。

学年・所属は受賞当時

新しい自分を見つける！人生を変える！
宮崎大学 Business plan Contest
ビジネスプランコンテスト
君の参加を待っています！

宮崎から世界を視野に活躍する人材の育成・輩出を目指し、2017年度から始まった『宮崎大学ビジネスプランコンテスト(みやだいビジコン)』(宮崎大学・宮崎銀行共同主催)。そのたちあげから携わっている地域資源創成学部の土屋有先生に、ビジコンの魅力やこれまでの成果、これからの展開などについてお聞きしました。

ビジコンスケジュール	
4月	推奨講座実施『ベンチャービジネス入門』『マーケティング入門』
5月下旬	募集スタート
5月下旬	学内説明会・プラン作成講座
8月上旬	募集締め切り
8月下旬	一次審査(事業計画書類審査)・フィードバック
9月上旬	事前相談会
9月上旬	二次審査(プレゼンテーション)・質疑応答 <small>審査員は現役ベンチャー企業の投資家、宮崎銀行の関係者、宮崎大学の教員が務める</small>
9月下旬	最終プレゼンテーション
9月下旬	フィードバック会

強みだと気づく過程、アイデンティティを獲得していく過程を見られたことも印象的でした。プレゼンが終わった後、会場を出ると、雨の中でずっと待っていた高校生が、その彼に駆け寄り、「ぜひ話を聞かせてほしい」と言ったそうです。価値観を揺るがし、心を震わせるものを見せたということだと思います。

世の中を変えていくきっかけになるシーンに遭遇していると感じます。

今年のビジコンは、どんな大会になりましたか？

ビジコンが宮崎大学の枠を越えます。宮崎県内の大学、高等専門学校も加わり、どこの学生でも参加できるようになりました。

宮大生は、より多様な視点の仲間と戦えます。世界が広がると思います。自分の強みをさらに磨く必要が出てきますし、ほかの大学の学生と組んで応募もできる。起業したい学生だけ

でなく、世の中、社会の問題や課題をどのように解決するかを「ビジネス」という手段を通して取り組んでいく機会です。

他大学とも切磋琢磨、協力していくのです。最後に学生へのメッセージをお願いします。

一生を変えてしまっても構わない、自分の価値観を変えるかもしれない、誰かの価値観を変えるかもしれない。それが、ビジネスプランコンテストです。

アイデアはなくても大丈夫。説明会からスタートして、チームづくり、アイデアの出し方、ビジネスへつなげる方法まで、一つずつ段階を踏んだプログラムを組んでいます。技術的な力を持っている学生や数字に強い学生もいる。サポート力があるのも武器になる。社会は得意、不得意なことがうまくかみ合わさって回っていきます。1人でやるもよし、チームでやるもよし、ぜひチャレンジしてください!!

ビジコンの結果以上に、終わった後の学生の思考や行動、社会からの評価が変わってきたという手応えを感じています。もっと勉強しなければという向学心を持ち、起業する学生も増えました。実際に、今までは組が事業化し、そのうち1社が大学発ベンチャーとして投資を受けて起業しています。もちろん、うまくいく場合も、いかない場合もありますが、チャレンジした学生からは、自分が納得して成長できているという話を聞いています。

また、学生たちが地域に出て、地域の方と話し合いながら物事に取り組み始めています。ビジネスのプロセスを学び、自分で問題解決していく力を手に入れたということだと思います。ビジコンに出た学生が西橋通りでバーを始めたり、ビジコンに参加しなかった学生も彼らから刺激をもらい、地域食堂を始めたりしています。自分も何かやってみたいという思いが派生して、小さなチャレンジがたくさん生まれています。ステージに上がらない学生にも火を着け、種をまいている。そこに大きな意味があると思います。

宮崎大学でビジコンをやって、学生の变化を感じていますか？

学生にとっては「大学に入って、本気でワクワクしているか」という言葉をかけます。応募者は2年生が一番多いんです。大学生の夏休みは、毎日ドラマで、恋愛で泣いて騒いで、青春していると思いついていたけど、1年生の夏休みが終わってみたら、自分は成長したのだからか...と知っている学生が多い。ワクワクとドキドキ、ときめく瞬間を自分でつかめる手段がビジコンだと思います。自分を成長させてくれる。新しい自分を見つける、知らない世界をのぞけるチャンスなんです。

これまでのビジコンで特に印象に残っていることはありますか？

第1回の優勝者は、障がいのある車いすの学生のチームでした。そのチームは、学部も学年も障がいも超えて、本気で喧嘩していました。「障がい者に優しくするとか、ケアするとか」「一つの差別なのかもしれない」と考えさせられるくらい、ぶつかりあっていました。本当の意味でフラットな関係性を見せてもらいました。

第3回のコンテストでは、LGBTの学生が発表しました。ステージに立って、初めて両親にもカミングアウトしたんです。自分の特性が

ビジコンのテーマは「自分の半径30cm以内、1m以内の自分の疑問や悩み、怒り、悲しみなど、自分の身近な問題意識の中からテーマを見つけていこう」と伝えていきます。自分事として考えられるテーマについて取り組んでほしい。自分がやりたいと思えることを一緒に探していくことを大切にしています。

学生にとって、ビジコンの一番の魅力は何だと思えますか？

学生には「大学に入って、本気でワクワクしているか」という言葉をかけます。応募者は2年生が一番多いんです。大学生の夏休みは、毎日ドラマで、恋愛で泣いて騒いで、青春していると思いついていたけど、1年生の夏休みが終わってみたら、自分は成長したのだからか...と知っている学生が多い。ワクワクとドキドキ、ときめく瞬間を自分でつかめる手段がビジコンだと思います。自分を成長させてくれる。新しい自分を見つける、知らない世界をのぞけるチャンスなんです。

土屋有先生 Yu Tsuchiya
地域資源創成学部 企業マネジメントコース講師

多摩大学大学院経営情報学研究所修士、上場・未上場企業取締役など歴任。IPO、M&A、事業再生等経験。専門はマーケティング、デジタルマーケティング、ソーシャルビジネス。

宮崎大学 地域教育プログラム



くわしくはHPへ!



どんな資格なの?

地域で活躍する社会人の話を聞いたり、地域と人と関わりを持ちながら学習したりすることを通じて、様々な分野で活躍できる人材を育成します。プログラムでは、座学、実習、オンライン型、プロジェクト型、インターンシップなど様々な形式の科目が用意されています。興味や関心に合った科目を選び、所定の単位を取得することにより、コースに応じた資格が手に入ります。

どんな学生におすすめなの?

- 宮崎で働いてみたいけど、どんな職業があるのかわからない。
- 在学中に何か資格を取ってみたいけど、なかなか時間がない。

みやざき産業人材認定証

9単位

宮崎県内の産業や企業、そこで活躍する人を知るだけでなく、地域が抱える課題とその解決に向けた取組例、成長企業の経営理念や成長のノウハウ等に対応したコンテンツをスマートフォンやパソコンを利用して「いつでもどこでも」受講できるオンライン型のプログラム。

インセンティブ(特典)

- 県内企業等における採用インセンティブ
 - ・一次試験免除
 - ・エントリーシート選抜優遇
 - ・書類選考免除
 - ・筆記試験免除など
- 大原簿記公務員専門学校(学内/宮崎校)の公務員講座受講料の一部免除



県内企業へ就職を希望する学生に情報提供しています

宮崎産業人材育成プログラムにおいて、規定の単位を習得した学生に授与している「みやざき産業人材認定証」。認定証を提示することで県内企業への就職活動時に様々な優遇を受けることができます。

認定証優遇の採用情報を随時提供

県内の様々な企業から提供される情報を公開しています。具体的な優遇内容、福利厚生はもちろん各企業の業務内容・魅力なども掲載しています。

- 地域活性化に繋がる職業に就きたい。
- 自分たちで課題について解決策を提案(実行)してみたい。
- フィールドワークに興味がある。
- 地域を知りたい。

地域活性化・学生マイスター

初級 18単位以上

(18単位以上)地域についての基礎知識や調査手法を学び、実際に実習で地域に飛び込んでその課題に触れる、2年生までに取得可能なプログラム。

上級 24単位

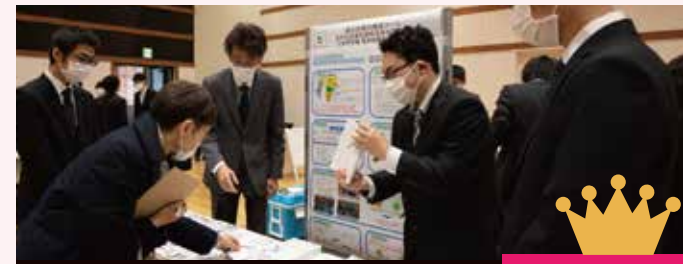
(24単位)初級に加えて、3年生以降に地域課題の捉え方や幅広い知識を学んだ上で、実際の課題解決策をチームで導き出し、プレゼンテーションまで行う実践型プログラム。

インセンティブ(特典)

- みやざき産業人材認定証と同等の県内企業等における採用インセンティブ(初級)〈上級〉
- 大原簿記公務員専門学校(学内)の公務員講座受講料の一部免除。(初級)〈上級〉
- 生協公務員講座受講後、県内内定者に報奨金の授与。(初級)〈上級〉
- 大原簿記公務員専門学校(宮崎校)の公務員講座受講料の一部免除。(上級)
- 宮崎大学職員採用試験の一次面接免除。(上級)

地域教育プログラム 取得者の声

- 他学部の人と仲良くなれた。専門が違うと視点が違うので、グループワークの際に発見が多くあった。
- 外の方と連携して何かをするような仕事を希望しているのであれば、絶対必要なスキルだと思う。
- 将来の進路を幅広く見つめるきっかけ作りの一環として、有益だと思ったので受講しました。自分の将来を見つめるという点においては、かけがえのない経験をすることができたと思います。
- 地域に出て、いろんな年代や立場の方と話す機会があったので、相手に合わせた話し方をコミュニケーションでできた。
- 配信のシステムは画期的であると思う。自宅にいるいろいろな人のお話を聞くことができ、刺激を受けることができたし、自分の今後の働き方を考えるいい機会となった。
- 講義を通して、宮崎県の魅力であったり、取組を知ることができたのはよかった。現在は宮崎県に住む一学生として宮崎県に貢献したいと思うし、地域への愛着も湧いてきた。



代表者所属:農学部海洋生物環境学科

学長賞

郷土の魅力発信ツール さかなのまちのゆるキャラカルタ

“さかなのまち”門川町の豊かな自然や魚への興味・関心を高めることを目的に実施。地域振興と環境教育の二大目標を達成するため「宮崎大学魚かるたプロジェクト」を立ちあげ、かるたを作成した。かるたは4人で描いた個性あふれるイラストと、写真+紹介文の2面があり、どちらも楽しめる。かるた大会を実施したところ、両面あることで、子どもにも大人にも好評だった。商品化も検討中。



優秀賞

代表者所属:教育学部学校教育課程

スポーツ交流を通じた障がい理解啓発と障がい者の社会参加促進

特定地域枠・西都市の地域活性化を目指した企画・活動。重度障がいのある児童生徒がスポーツに参加できる機会は、宮崎市以外の市町村ではほとんどない。今回はポッチャ、eスポーツ、ハンドサッカーを実施。視線入力装置を取り入れたら、ハンドサッカーに難度の異なるシュート方法を取り入れたらすることで、車いす利用者も一緒にスポーツを楽しめ、バリアフリーな交流につながった。

将来、社会でリーダーとして活躍する宮大生の企画力や実施力を高めることを目的とした「とても元気!宮大チャレンジプログラム」。学生ならではの自由で創造性豊かな企画と積極的な活動を通して地域交流や大学の活性化、自然環境の保全などさまざまなテーマについて、学生自らがプログラムを企画し、15組が採択された。今年度は、自治体から資金の提供を受けて、その地域の活性化や課題へ取り組む企画「特定地域枠」に前年度からの「西都市枠」に加え「五ヶ瀬町枠」も含まれている。2020年2月27日、採択されたプログラムの成果発表会をポスターセッション形式にて実施し、選考の結果3企画が受賞した。

2019年度

とても元気! 宮大チャレンジプログラム

選考結果発表



優秀賞

代表者所属:教育学部教育実践基礎コース

GO!GO!GO・KA・SE発信隊 ~ごかせつ子とPR大作戦!~

特定地域枠・五ヶ瀬町の地域活性化を目指した企画・活動。4つの小学校すべてが小規模校の五ヶ瀬町で、小中学生と大学生が交流できる機会を持った。何度も足を運び、県内のPR活動の支援、五ヶ瀬町バスツアーの開催、大学の学園祭で五ヶ瀬町ブースの出店などを行った。五ヶ瀬町で教員になりたいと感じる学生や、行ってみたいと思う学生が増え、子どもたちと一緒に魅力を発信できた。

今年度、採択されたプログラム

- 郷土の魅力発信ツール さかなのまちのゆるキャラカルタ
- VR オープンキャンパス
- めざせ日本一! ミートジャッジプログラム
- 見る!学ぶ!守る!宮崎の動物たち!!
- アクティブ宮大生図鑑&マッチング企画
- 化学の魅力広め隊~クロロフィルスライム~
- もっと宮崎の企業を知ってもらおう!~わくわくフェス~
- 目指せポッチャ金メダル! ~宮崎の選手よ 世界へ羽ばたけ!!~
- 宮崎の砂浜を綺麗にしよう!
- 宮崎の農家を火山灰から守れ/これで火山バイバイ!

- 特定地域枠 西都市枠
- スポーツ交流を通じた障がい理解啓発と障がい者の社会参加促進
- 西都の恵みを科学の力で発信!
- 宮大出張コンサート in 西都
- 山村留学生交流会&YTG
- 特定地域枠 五ヶ瀬町枠
- GO!GO!GO・KA・SE 発信隊~ごかせつ子とPR大作戦!~

宮崎TOPセミナー

宮崎の26市町村長が地域の現在・未来を90分の講義で語ります。今年度のTOPセミナーは2巡目に入り、新町長からの講義が始まります。より詳しく宮崎を知り、活躍の場を宮崎に見出すために非常に有効な、誰でも参加できるセミナーです。

- 5月20日(水) 綾町 16:40~18:10
- 7月15日(水) 高千穂町 16:40~18:10



■ 場 所：地域デザイン棟(木花キャンパス)

宮大初の学生ベンチャー企業「Smolt」



宮崎大学学生発ベンチャー企業の記念すべき第1号である「株式会社Smolt」が誕生しました。宮崎の海で幻の高級魚サクラマスの養殖を行っており、人工的に排卵したイクラから次の世代を作ることが出来る循環型養殖が特徴です。宮崎大学ビジネスプランコンテストがきっかけとなり誕生した「株式会社Smolt」、2022年には3億円の売上を目指しており、今後の展開にも目が離せません。



■ 株式会社Smolt 宮崎オフィス
宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1農学部棟S403
info@smolt.co.jp

Event

●日程等は今後変更になることがあります。詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/event-calendar.html>



宮大夕学講座 ～時代の“潮流と深層”を読み解く～	日時: 5/14(木)~7/16(木) 18:30~20:30(5回開催) 場所: 地域デザイン棟 対象: 高校生、大学生、一般	地域デザイン講座 ☎0985-58-7884
Weekly Work Café	日時: 5月~7月(各月2回開催予定) 場所: 地域デザイン棟	産学・地域連携課 ☎0985-58-7868
フルマラソンを走ろう♪	日時: 5/16(土)~9/26(土) 9:00~12:00 場所: 地域デザイン棟 他	産学・地域連携センター ☎0985-58-7188
農学部田野フィールド公開講座 ミツバチの世界を知ろう!	日時: 5/23(土) 10:00~12:00 対象: 小学生(高学年)以上、一般 場所: 農学部田野フィールド	産学・地域連携センター ☎0985-58-7188
“和合の郷” 土呂久に学ぶ環境学	日時: 6/20(土)~7/4(土) 14:00~15:30 場所: まちなかキャンパス	産学・地域連携センター ☎0985-58-7188
住吉フィールド(牧場)公開講座 ～乳搾りを体験し、トラクタに乗ってみよう～	日時: 8/11(火) 9:00~12:00 対象: 小学生 場所: 農学部住吉フィールド	農学部住吉フィールド ☎0985-39-1034
オープンキャンパス	日時: 8/10(祝)・11(火) 場所: 木花キャンパス・清武キャンパス	学生支援部入試課 ☎0985-58-7138

※上記で予定しておりますが、新型コロナウイルス等の感染拡大防止策、台風等の自然災害などにより日程の変更や中止となることがあります。

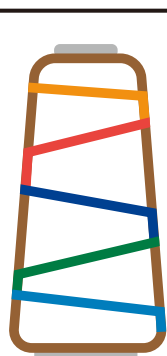
広告

印刷、刺繍は北一へ

印刷会社ならではの「刺繍」をご提案いたします。



北一株式会社 宮崎市太田3丁目1-31
tel:0985-51-5100 email:info@kita-ichi.jp



オリジナル刺繍
ワッペン
帽子
キーホルダー
リストバンド
各種ネーム入れ
etc...



※この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

宮崎大学「数理DS教育強化」事業キックオフシンポジウムを開催

11月13日、「数理・データサイエンスを活かした地域産業人材の育成に向けたカリキュラム・教材の開発」事業キックオフシンポジウムを開催しました。この事業は、デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理データサイエンス・AI」の基礎など、Society5.0で求められるリテラシーを文理問わず身につけるため、誰もが学びやすい教育プログラムや教材を拠点校と連携して開発し、まずは大学内、そして地域から全国の大学へ普及・展開することを目標としています。本学は本年度から協力校として採択されており、シンポジウムでは、基調講演講師として日本初のデータサイエンス学部を創設した滋賀大学の竹村彰通学部長をお招きし、「滋賀大学発のデータ

サイエンス教育のモデル」と題して講演いただきました。シンポジウムには、他大学や企業等からの参加も含めて77名が参加し、学習コンテンツ作成上の課題や、教育する側の人材確保、学生の学習意欲を高める手法などについて質問や意見が交わされ、今後も、課題や成果を共有しながら本事業を推進していくことを確認しました。



宮崎県、宮崎大学及び農研機構が連携協定を締結

11月13日、宮崎県、宮崎大学及び農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)は、最先端のスマート農業技術を活用した農業・農村の活性化及び地域産業の振興を目的とする連携協定を締結しました。今回の協定では、宮崎県、宮崎大学、農研機構の三者が連携協力体制を構築し、共同研究の推進、研究成果の普及、人材育成の促進、技術相談、情報の共有及び相互発信等を行い、本県農業・食品産業の競争力強化による農業・農村の活性化を進めます。



「日本語×ITインターンシップ・プログラム」第4期の修了

12月20日、宮崎大学連携事業における「日本語×ITインターンシップ・プログラム第4期」の修了式が挙行政され、昨年10月1日から約3ヶ月にわたって本学で学んだ留学生13名に、国際連携センターの多炭副センター長より修了証書が授与されました。修了生も一人ひとり日本語で今後の抱負を語り、「初めての海外生活で大きな不安を感じながら、宮崎の人たちの温かさに触れて不安も解消されていった」、「これからの生活にも仕事にも全力で取り組みたい」、などの言葉が異口同音に発せられました。



「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」

11月18日、「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」キックオフシンポジウムを開催しました。本プロジェクトは、本学において米国留学や文化に関する情報提供や各種イベントを実施し、本学のみならず宮崎県全体の国際化、日米の相互理解、ひいては日米友好の深化の促進を目的としたプロジェクトです。来年5月に予定されている本学附属図書館リニューアルオープンに併せて設置されるアメリカン・インフォメーション・デスクを拠点に日米間の文化交流を促進し、更なる国際化を進めていくこととしており、その成果が期待されています。



「香港恒生大学教育旅行来学」地域資源創成学部学生と文化交流

1月6日、宮崎県香港事務所が誘致した香港恒生大学教育旅行一行が来訪し、地域資源創成学部1年の英語クラスに参加しました。男女に分かれて、女性は着物、男性は浴衣の着付けを体験しました。その後、折り紙や、韓国からの留学生が提供するユンノリ(韓国の伝統的な遊び)などを行いながら交流を深めました。今後も、日本人学生と留学生との交流機会を設けて、異文化相互理解、国際的視野の醸成を図るとともに、教育の国際化を推進していきます。



宮崎大学市民シンポジウムを開催

12月15日、「宮崎大学市民シンポジウム」を開催しました。元読売ジャイアンツの黒江透修氏を迎えて講演を行い、その後のパネルディスカッションでは、パネリストに1991年世界陸上東京大会男子マラソン優勝者の谷口浩美特別教授、運動学が専門の三輪佳見教授、サッカーなどでJAPAN帯同ドクターの山口奈美助教という顔触れて、「スポーツと地域活性化」をテーマに、教育現場でのスポーツのあり方や大学が発信するスポーツ科学など、スポーツを通じた健康づくりや地域活性化について、様々な角度から議論を交わしました。



附属図書館医学分館改修記念式典

1月9日、改修記念式典が医学分館玄関ホールで執り行われました。開館後40年以上が経過し施設の老朽化も著しく、さらに、昨今のラーニングコモンズ等に代表されるように図書館の機能も時代と共に変わり、その強化も求められる中、平成30年度、平成31年度(令和元年度)の2カ年計画として行われていた医学分館改修工事がこのほど完了しました。記念式典では池ノ上学長の挨拶の後、テープカットが行われ医学分館のリニューアルオープンを祝いました。



TOPICS

宮崎大学で起こった出来事をご紹介します!

2019年11月~

卒業生に
直撃!



短歌、部活動、図書館での 経験がすべて生きている。 生徒にもさまざまな 経験を積ませたい。

木城町立木城中学校
国語教諭

倉永 志こころさん

新富町出身。2014年、教育文化学部学校教育課程中学校教育コースに入学。国語主専攻小学校副専攻。2018年3月に卒業し、木城中学校に赴任。

2018年4月に木城中学校に赴任し、間もなく3年目を迎える国語教諭の倉永志さん。初任の年は1年生の学級担任。2年目は木城中学校が中部地区読書推進校に指定され、倉永さんは地区の読書活動推進リーダーとして学校図書館の充実や環境整備について取り組んできた。先生を目指したのには理由がある。「僕は高校を一度中退し、別の高校に行き直してから大学に入りました。この経験を活かすことができるのが教師という仕事ではないか。宮崎で教師になりたいと思いました」。宮崎大学教育文化学部に入學し、和歌や国語教育を研究する中村佳文教授のゼミを選んだ。「先生に勧められて短歌を始めました。大学3年のときにはゼミの友人と短歌会を立ち上げ、卒業論文のテーマも若山牧水でした。今は創作できていないのが悔しいのですが、子どもたちに短歌に触れてほしいと図書館に短歌を掲示しています」と倉永さん。大学時代はソフトテニス部に所属し、現在、女子ソフトテニス部の顧問を務めている。2019年度は地区大会優勝、県大会2位という成績を収めた。「大学での経験を部活動でも活かすことができて、嬉しいですね」と

読書活動推進リーダーとして、まず図書館の環境を変えようと、本を選ぶ際の動線を考え、書棚を動かし、本も入れ替えた。年間貸出目標冊数は、昨年度を超えようと3000冊に、既に昨年12月に3000冊を超え、3月までに3500冊に迫りそうな勢いだ。本が苦手な子ども親しみやすい図書館にしたいと考え、イベントも実施。「新刊総選挙」と題して選書してもらいました。「木城えほんの郷」のブックコーナーの方々に中学生向けの本を揃えてもらい、みんなで投票しました。ここでは大学図書館でやった経験が活かされています。生徒もたくさんアイデアで図書館を盛り上げてくれるという。

教師を目指す大学生に向けて、「短歌や部活動を通して、大学生だけではなく、小中学生や高齢者などいろいろな年齢層の人と話して、「コミュニケーションを取る機会が多かったことが活かしている」と語る。

「学級、学校の活動や部活動を通して、子どもたちにいろんな経験を積ませたい」と倉永さん。「子どもたちと一緒に学ぶという初心を胸に、子どもたちと豊かな経験を共有していく。」

広告



銀行の枠をこえた
新しいキャッシュレス、
はじまる。



明日の夢 人から人へ
宮崎銀行
お問い合わせ先
キャッシュレスサポートセンター
0120-444-588 (フリーダイヤル)
受付時間: 平日 9:00~17:00

飲み会の
割り勘が
スマホで
スムーズ!

QRコードで
お財布なしの
サッと会計!

送るも
もらうも
自由自在!

すべて手数料0円
詳しくはこちら
Jコインペイ

App Store からダウンロード
Google Play で手に入れよう

※J-Coin Payは、みずほ銀行が提供するスマホ決済アプリです。連携する金融機関の預金口座保有者は個人間の送金や店舗での決済、キャッシュアウト等のサービスが利用できます。
※Apple および Apple ロゴは米国およびその他の国で登録されたApple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。※Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
※本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信費用が必要です。
2020年3月31日現在

※この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

宮崎大学公式フェイスブック
みなさんからのたくさんの「いいね!」をお待ちしております。

Myaoh.TV
公式Youtubeチャンネルで宮大がわかる動画が500本以上!

宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2020 vol.34 [発行日]令和2年3月31日
http://www.miyazaki-u.ac.jp/
[編集発行]国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985)58-7114

本誌を読んでものご感想など自由にメールでお寄せ下さい。kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方々を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などで配布しています。バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。

*本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。

